

次世代情報化推進室

1 Society5.0の推進について

【背景等】

AI、IoT、ロボットなど、第4次産業革命と呼ばれる新たな技術革新が、これまでにないスピードで進展しており、国においても、デジタル化を原動力としたSociety5.0実現の取組が推進されている中、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会のデジタル化が一層加速してきています。

人口減少や少子高齢化が進行する中、AI、IoT、ビッグデータなどのICTを利活用した地域課題の解決、新産業・新サービスの創出、県民の豊かで質の高い生活の確保、行政におけるデジタル化の推進を図り、本県におけるSociety5.0の実現、さらには、新型コロナウイルス感染症に対応するためのニューノーマル（新たな日常）の実現を目指す必要があります。様々な分野における取組を推進してまいります。

【今年度取組の主な内容】

様々な分野における、Society5.0の実現に向け、デジタルトランスフォーメーション（DX）促進、ICT利活用による課題解決・社会実装等に係る意識啓発及び取組促進、行政・民間が保有するデータのオープン化促進及びデータ連携基盤の構築などを実施します。

データ連携基盤構築

- 行政や民間が保有する、多種多様なデータを集積・共有・活用することにより地域課題の解決、新サービスの創出を促進するためのデータ連携基盤を構築します。

○ 県内におけるICT利活用の推進（Society5.0推進）

- 人口減少・少子高齢化の進行、2040年問題、新型コロナウイルス感染拡大への対応する「新たな日常」の確立など、顕在化する地域課題の解決に向け、ICTを利活用を図る市町・事業者の取組（実証等）を支援します。
- 県内の各産業分野の企業や県民の皆さんが、県内企業、誘致企業等の製品、サービスに、直接触れ、体験できるイベントを開催し、各産業分野におけるICT利活用の促進、県内企業、誘致企業が持つ技術の横展開及び県民のICT利活用にかかる意識醸成を図ります。
- ICT利活用の意識啓発を図るオンラインセミナーを開催します。

人材育成

- 市町職員のデジタル関連施策への意識啓発、並びに政策立案に対する助言や技術的支援、地域住民向け情報リテラシー向上（デジタルディバイド対策含む）等を図るため、市町の意向にもとづき、本県情報戦略アドバイザー等を派遣し、人材育成等の支援活動を実施します。